



すみれ歯科・こども歯科クリニック
～ららぽーと愛知東郷～

インビザライン治療 (クリアマウスピース型矯正装置)について



インビザライン治療について

矯正治療において、2000年くらいから、マウスピース型の矯正装置を使用して歯を移動させるという治療法はありましたが、近年、インビザライン代表されるような、オーダーメイド型のクリアマウスピースによる治療法が急激に普及してまいりました。

これは、600万人を超える症例数を参考にして、コンピューターにより設計した治療法に合わせて作られた、透明で薄いマウスピースを使用することによって歯を計画的に移動させる矯正治療法です。

従来型のブラケット治療で問題となっていた、「目立つ」「痛い」「歯磨きが困難」という問題を解決する治療法で、特徴としましては、「目立たない」「取り外せるので歯磨きが容易」「取り外れるので食事に制限が無い」という大きなメリットがあります。

また、最近、問題になっている「金属アレルギー」に対しても、インビザラインはプラスチックトレイを使っていますので、全くその心配がありません。

インビザライン治療の特徴



〈メリット1〉 透明なマウスピースなので、装置が目立たない

小学生であっても、拡大床装置のワイヤーが見えていたり、歯の表面にボタンをつけるブラケット治療(ワイヤー矯正)には抵抗があるお子様が多いのが現状です。透明なマウスピースであるインビザライン治療ははお子さんの治療へのモチベーションを高めてくれます。



〈メリット2〉 スポーツを頑張っているお子様にも最適

スポーツをがんばっているお子さんの場合、運動している間は、「拡大床装置」などの装置は取りはずさないといけません。そうすると、どうしても「装着時間」が短くなってしまいう傾向があり、治療が長期間になります。その点、インビザライン治療は運動している間も装着が可能なので、矯正治療が順調に進むことが多いです。



〈メリット3〉 装着の違和感がとても少ない

拡大床装置や固定式装置、ワイヤー装置などはどうしてもお口の中での存在感が大きいので、違和感がとてもです。また、正しい嚙下や呼吸、ポカン口の除去などは拡大床装置などを装着しているとなかなか改善することができません。インビザライン治療は違和感がとても少なく、悪習癖の改善にも大きなメリットがあると言えます。



〈メリット4〉 衛生的

固定型装置、ワイヤー装置の1番の問題は、口腔内の清掃が難しいということもあり、虫歯のリスクが高まります。

また、拡大床装置は4～6ヶ月間、同じものを使用し続けますので、衛生的にしておくことは、掃除などの工夫が必要で、保護者の方の日常のストレスにもなりやすいと言えます。その点、インビザライン治療は、マウスピースを取り外して歯磨きができるので、虫歯リスクを下げることができますし、1週間～10日ごとにマウスピースを新しいものに交換していくため、常にきれいな状態の矯正装置を使用できるという点でとても衛生的であると言えます。